



うめ が え しゅ ぞう きゅうおおむらはんりょう もつと
梅ヶ枝酒造は、旧大村藩領の最も北にあった宮村（現：城間町）にあ
ります。近くには平戸往還（街道）が通り、天明年間（1780頃）の
創業とされるつくざかや しきち しゅおく げんかん もう
敷地の中心にある主屋は南西部に玄関を設
けた桁行18mの大建築で、安政7年（1860）に建てられたものです。
そのほか住居や瓶詰所、旧むろ、旧仕込蔵は明治期の改造があるもの
の江戸時代の建築です。また明治時代以降に建てられた貯蔵蔵や旧北蔵な
ども酒造業の展開を知るうえで重要な存在となっています。

【見学のお知らせ】

団体で見学を希望される場合は、事前に
連絡をお願いします。個人、グループは、
随時ご見学ください。

見学時間は午前9時から午後5時まで。

◆問合せ・見学申込先

梅ヶ枝酒造株式会社
TEL(0956)59-2311



たいしゅうまつねん くらだ きねん
大正末年(1925頃)の蔵出し記念写真

しほ
酒を絞る「ふね」



きゅうしこみぐら こやぐみ
旧仕込蔵の小屋組



うめ が え しゅ ぞう でんとうてき わふうけんちく つね かくとう き
梅ヶ枝酒蔵の建物は、伝統的な和風建築で、酒造業の常として各棟の規
模が大きく、天井の小屋組は大きな木材を用いた豪壮な造りとなっていま
す。江戸時代に創業した当時の建物を含む建物群は、伝統的な酒造
業の実態を知ることができ、さらに佐世保市内に残る酒造業の建物群とし
て貴重な存在で、平成14年（2002）に国の登録有形文化財に登録さ
れました。

